

1 単元名 New Crown English Series Lesson6 “I have a dream”

2 指導観

- 本単元は、アメリカ合衆国における人種差別撤廃を求めて繰り広げられた公民権運動と、その中心的指導者であったキング牧師の生涯や夢について取り扱っている。当時アメリカで生まれた黒人達が、どんなにひどい人種差別の中で暮らさなければならなかったか、またその差別をなくすために、キング牧師がどのような思いを胸に、どのような姿勢で運動を繰り広げていったのかを学ぶことができる内容となっている。平和な世界を築く担い手として、確かな人権感覚を身に付けなければならない生徒達にとって、キング牧師の考え方、生き方にふれることはたいへん意義深いと考える。

言語材料としては、名詞を説明する表現として、前単元で学習した現在分詞・過去分詞の後置修飾、接触節に続き、関係代名詞が取り扱われている。生徒にとっては難しい文型ではあるが、この用法の使い方を習得すれば、自分の伝えたい人や物について、より細やかに相手に伝えることができるようになるとともに、長い英文や複雑な英文を理解できるようになる。

○

- 指導にあたっては、導入で写真や曲を提示しながら、ジョン・レノンを紹介する。そして、「みんなにとっての偉大な人物・影響を受けた人物は誰か」と発問する。単元の終末にその人物について英語で紹介する活動を行うことを伝え、生徒の表現したいという意欲を高めたい。

その後、教科書の内容を丁寧に扱っていく。具体的には、まず各セクションの文法の定着を図るために、練習問題を解かせるほか、ゲームを通して話す練習を多く取り入れたり、生徒同士で教え合う場を設定したりする。また、キング牧師の生涯や夢についても押さえていきながら、キング牧師の生き方のすばらしさにも触れさせたい。

単元の終末においては、自分の紹介したい人物を英語で友達に発表し、相互評価し合うことで、成就感を味わわせたい。

3 研究の視点に立った本実践のねらいと工夫

- 配慮を要する生徒への具体的な手だて

関係代名詞の働きが理解できるように、既習事項の内容を記述した模造紙を掲示したり、学習の見通しをもたせるために、1時間の学習活動の流れを提示したりする。

また、授業に参加しやすい雰囲気を作るために、ペア・班活動を取り入れる。そして、関係代名詞を用いた英文が必ず1つは作れるようにするために、早く英文を作り終わった生徒にアドバイザーとして、英文を作れていない生徒のサポートをするように指示をする。

このような活動を仕組むことで、教える生徒・教えてもらう生徒互いに成就感をもたせると共に、自尊感情を高めるようにする。

4 単元の目標及び評価規準

- 関係代名詞を含む文を用いて進んで英文を書こうとしたり、話そうとしたり、相手の話を聞いて理解しようとしたりする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 関係代名詞を含む文を用いて、話したり書いたりすることができる。
(外国語表現の能力)
- 関係代名詞を含む文を聞いたり、読んだりして、その内容について正しく理解することができる。
(外国語理解の能力)
- 関係代名詞と、関係節の構造と意味についての知識を身に付ける。
アメリカの人種差別問題の実態やキング牧師の人間の平等についての考え方、生涯について理解する。
(言語や文化についての知識・理解)

(ア) コミュニケーション への関心・意欲・態 度	(イ) 外国語表現の能力	(ウ) 外国語理解の能力	(エ) 言語や文化につい ての知識・理解
①関係代名詞を使っ て紹介したい人物 を意欲的に考えて いる。 ②間違いを恐れず英 語で積極的に話し ている。 ③辞書を使ったり、 友達に聞いたりし ながら、偉大な人 物について紹介文 を書こうとしてい る。 ④相づちをうったり、 メモをとったりす るなど、相手の話 に関心をもって聞 いている。	①関係代名詞を正しく 用いて英文を書くこ とができる。 ②正しいイントネーシ ョン、区切りなどを 用いて話すことがで きる。	①英語の質問やリスニ ング問題を正しく聞 き取ることができ る。 ②本文の内容を正確に 読み取ることができ る。	①関係代名詞を含 む文の構造を理 解している。 ②アメリカの人種 差別問題の実態 やキング牧師の 人間の平等につ いての考え方・ 生涯について理 解している。

5 指導計画（全12時間）

次	学習活動・内容（時数）	指導上の留意点	評価規準
第一次 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・“Imagine”の曲を聴く。 ・関係代名詞 that（主格）を含む、ジョン・レノンについての紹介を聞く。 ・関係代名詞を用いて英語で紹介したい人物について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習目標を提示し、学習の方向付けを行う。 ○意欲を高めるためにジョン・レノンの写真を示しながら、関係代名詞を用いた英文を導入する。 	アー①
	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 that（主格）の用法を理解する。 ・ワークブックの練習問題を解く。 ・自己表現シートに关系代名詞 that（主格）を用いた文を作る。 ・班でそれぞれの作った文を発表する。 ・セクション①の新出単語の発音練習と意味の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の理解を助けるために実物やピクチャーカードを提示する。 ○英文を作り終わった生徒はアドバイザーとして、英文を作るのに手こずっている生徒のサポートをさせる。 ○定着を図るためにできるだけ何度も発音させる。 	イー①
	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 that（主格）の復習をする。 ・関係代名詞 that（主格）に関するリスニング問題を解く。 ・本文の音読練習をする。 ・本文の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係代名詞の定着を図るために、英文を作らせる。 ○関係代名詞を使って、どのようにものや人について説明しているかに注目させる。 	ウー①
第二次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 that（目的格）の用法を理解する。 ・ワークブックの練習問題を解く。 ・関係代名詞 that（目的格）を用いた Let's find your partners! ゲームをする。 ・セクション②の新出単語の発音練習と意味の確認をする。 ・関係代名詞 that（目的格）の復習をする。 ・関係代名詞 that（目的格）に関するリスニング問題を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の理解を助けるために実物やピクチャーカードを提示したり、班の生徒同士で教え合わせる。 ○意欲的に活動できるようにゲームを取り入れる。 ○関係代名詞の定着を図るために、英文を作らせる。 	アー② イー②

	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習をする。 本文の内容を TorF や Q&A を行い理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係代名詞を使って、どのようにものや人について説明しているかに注目させる。 	ウー②
第三次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 who・which (主格) の用法を理解する。 学習プリントの練習問題を解く。 関係代名詞 who (主格) を用いた文を作る。 班でそれぞれの作った文を発表する。 全体の中で作った英文を発表する。 <p style="text-align: center;">(本時1/2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の理解を助けるために写真などを提示する。 ○英文を作り終わった生徒はアドバイザーとして、英文を作るのに手こずっている生徒のサポートをさせる。 	イー①
	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 who・which (主格) の復習をする。 関係代名詞 who・which (主格) に関するリスニング問題を解く。 本文の音読練習をする。 本文の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係代名詞の定着を図るために、英文を作らせる。 ○関係代名詞を使って、どのようにものや人について説明しているかに注目させる。 	ウー①
第四次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 which (目的格) の用法を理解する。 ワークブックの練習問題を解く。 関係代名詞 which (目的格) を含む英文を読み、その文が何を表しているかを考える「これは何でしょう？」の活動を行う。 セクション④の新出単語の発音練習と意味の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の理解を助けるために実物やピクチャーカードを提示したり、班の生徒同士で教え合ったりさせる。 ○意欲的に活動できるようにゲームを取り入れる。 	アー② イー②
	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 which (目的格) の復習をする。 関係代名詞 which (目的格) に関するリスニング問題を解く。 本文の音読練習をする。 本文の内容を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係代名詞の定着を図るために、英文を作らせる。 ○キング牧師の生き方について感じたことを伝え合わせる。 	エー②
第	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞を含む紹介文を作るためのパターンプラクティスを 	<ul style="list-style-type: none"> ○ジョン・レノンなど、ある人物とその情報を提示し、 	エー①

五 次 (3)	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の紹介したい人物について日本語で紹介文を作る。 	<p>それをもとに人物紹介を書く練習をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パターンプラクティスや教科書を参考にしながら、紹介したい人物の日本語を書かせる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 日本語で作った紹介文を英文にし、班で発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○早く終わった生徒は、アドバイザーとして、英文作りに手こずっている生徒のサポートをさせる。 ○班の友達の英作文を聞き、その感想を発表者に渡すことで成就感をもたせるようにする。 	<p>アー③</p> <p>アー④</p>

6 本時（第3次 1 / 2） 平成23年11月2日（水） 5校時

(1) 本時の指導観

前時までに生徒は、先行詞が人、もの、動物、事柄のいずれに対しても使うことができる関係代名詞の **that**（主格、目的格）について学習し、関係代名詞の果たす役割や使い方はある程度理解ができていたものと考えられる。

本時では関係代名詞（主格）の **who** と **which** の用法を習得することをねらいとしている。**who** は先行詞が人、**which** は先行詞がもの、動物、事柄に限られている。先行詞による関係代名詞の使い分けを、生徒自身に気付かせるために、導入段階において例文の意味を推測するのに、視覚的な助けとなる写真などを用意する。

まず、関係代名詞の運用方法を確認するために、プリントを用いて練習問題を解かせる。その後意欲をもって英文作りができるようにするために、以下のような手だてを行う。ペアでインタビュー活動を行い、その結果を基に関係代名詞を用いて英文を作らせる。そして班活動を仕組むことで安心して学習に取り組ませ、最後に班の中で全員が関係代名詞を用いた文を発表できるようにしたい。

配慮を要する生徒には、関係代名詞の働きが理解できるように、既習事項の内容を記述した模造紙を掲示したり、学習の見通しをもたせるために、1時間の学習活動の流れを提示したりする。また、授業に参加しやすい雰囲気を作るために、ペア・班活動を取り入れる。関係代名詞を用いた英文が必ず1つは作れるようにするために、早く英文を作り終わった生徒にアドバイザーとして、困っている生徒のサポートをするように指示をする。最後に自分の作った英文を班の中で発表させる。

このような活動を仕組むことで成就感をもたせると共に、自尊感情を高めるようにする。

(2) ねらい

- 関係代名詞 **who, which** の使い方を理解するとともに、関係代名詞を用いて、身近な人や物について英語で紹介する文を作ることができる。

(3) 準備

学習プリント、関係代名詞の構造を解説した模造紙、和英辞書、CD、CDプレイヤー、ペアカード、写真

(4) 展開

	学習活動・内容	指導上の留意点 (○)・評価 (●)	形態	配時
導入	1. あいさつをする。 ・ Good afternoon. ・ How are you?	○元気よくあいさつさせることで、英語学習の雰囲気作りをする。	一斉	1
	2. ウォーミングアップをする。 ・ 簡単な質問に英語で答える。	○本時のターゲットセンテンスに関係する内容の質問をすることで、本時の学習へのスムーズな導入になるようにする。	一斉	3
	3. 教師の関係代名詞 who, which を用いた英文を聞き、今日の学習のめあてを確認する。	○理解を助けるために、実物や写真を用意する。【ビジュアル】 ○新たに学習する関係代名詞に気をつけて、教師の話す英語を聞くよう注意を促す。【クリア】 ○本時の学習目標を提示し、学習の意識付けをする。	一斉	5
関係代名詞 who, which を用いて人や物についてより詳しく説明しよう。				
展開	4. 関係代名詞 (主格) who, which を用いた文の作り方を確認する。 (例文) John Lennon was a singer who loved peace. ・ 文法のまとめの学習プリントを記入し、練習問題を解く。	○先行詞が人の場合は who 、もの場合 which を用いることを単語カードを使って視覚的に理解させる。【ビジュアル】 ○早く問題を解き終わった生徒はホワイトボードに解答させる。	一斉	1 3
	5. 関係代名詞 (主格) who を用いて英文を作る。 ・ クラスの友達について、関係代名詞を用いて説明する英文を作る。	○分からない生徒は板書を参考に指示をする。 ○文を作り終えた生徒はアドバイザーとして分からない生徒のサポートをさせる。 ●関係代名詞を用いて正しく英文を書くことができる。 [観察、ワークシート]	ペア 個人	2 6
まとめ	6. 作った英文を発表する。 ・ 班の中で作った英文を発表する。 ・ 全体の場で作った英文を発表する。		班	
	7. 本時の活動を振り返る。	○本時の文法事項が理解できたか、それを用いて英文を書くことができたか、班の中で積極的に発表しようとしたか等について自己評価をさせ、次回の活動につなげる。	個人	2

(5) 板書計画

Lesson 6 ー③

Aim 関係代名詞 **who, which** を用いて人や物についてより詳しく説明しよう。

写真

John Lennon was a singer **who** loved peace.

「人」

ジョン・レノンは平和を愛した歌手です。

“Imagine” is a song **which** was written by John.

「もの」

イマジンジョンによって作られた歌です。

Point

先行詞が「人」→ **who**

先行詞が「もの・動物・事柄」→ **which**

学習の流れ

- ①新出文法の確認
- ②練習問題
- ③インタビュー（2分×2）
- ④英文の作成（5分）
- ⑤班→全体で交流（3分→7分）
- ⑥まとめ、自己評価